

# 仙台市町内会等実態調査 報告書概要版

## 1. はじめに

### (1) 調査の目的

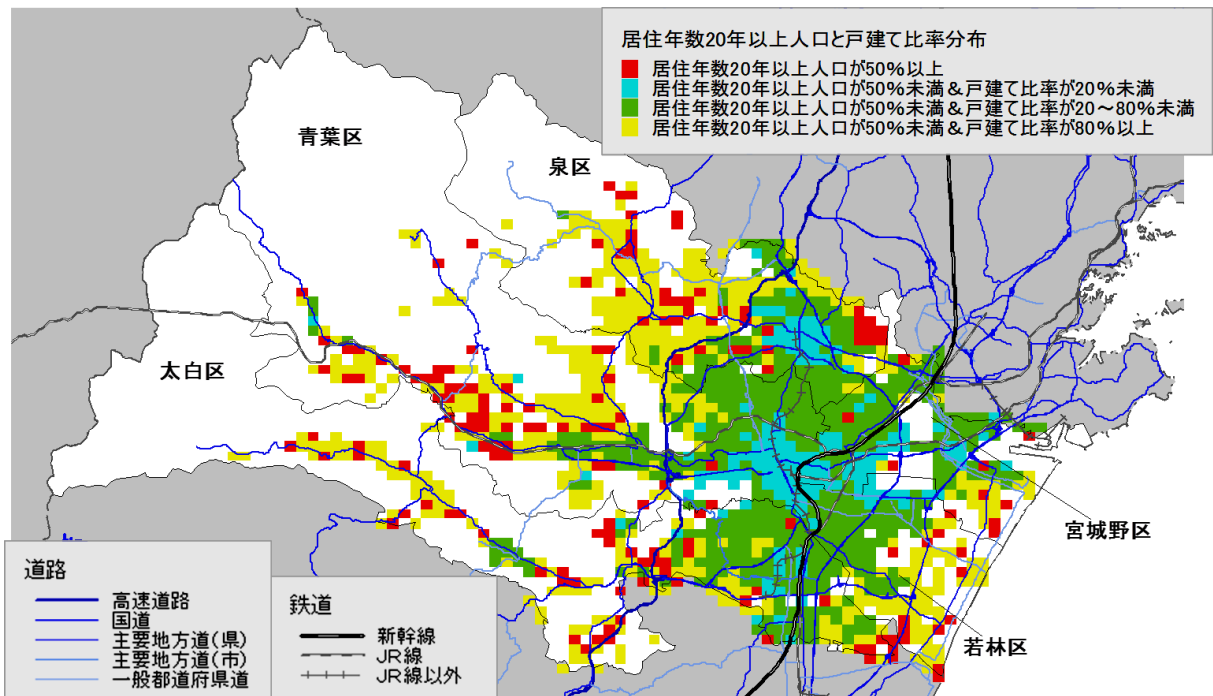
- ・町内会等を取り巻く現状や課題を客観的に把握・分析することにより、今後の地域政策の展開を見据えた基礎資料を得るため実施する。
- ・そのうえで、現在の町内会等が主体的に活動を展開したり、持続的に活動出来るようにしたりするために必要な支援についての整理を行う。

### (2) 調査の手法

- ①既存統計資料分析：地図情報、統計情報のマッチング
- ②単位町内会長、連合町内会長アンケート調査：回収率92.3%
- ③単位町内会長等ヒアリング：12団体に対する聞き取り調査
- ④市民意識調査：回収率44.9%
- ⑤町内会解散地域、未加入マンション住民向け意識調査：回収率45.7%
- ⑥解散・合併地域元役員ヒアリング：6地区の元役員に対する聞き取り調査

## 2. 既存統計資料分析に基づく地域類型の仮説

町内会の活動の状況や直面している課題等には、居住形態や居住年数などにより地域ごとの特徴があるのではないかと仮説に立ち、本調査では、以下の4つの類型に本市の地域を区分し調査分析を行った。



地域1(赤)：郊外に点在、居住人口約3万人

地域2(青)：中心部及び再開発地区に位置、居住人口約26万人。高齢化率は比較的低い

地域3(緑)：中心部周辺地区に位置。幹線道路、鉄軌道沿線地域等 居住人口約62万人

地域4(黄)：中心部から郊外にかけ広く分布。大規模団地 居住人口約16万人

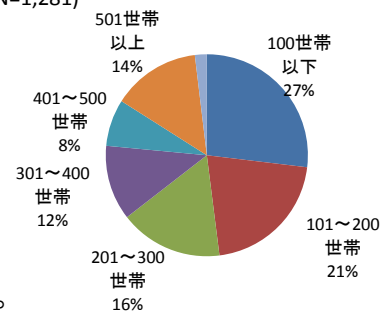
### 3. 実態調査の概要

#### (1) 単位町内会長、連合町内会長アンケート調査

##### ●町内会組織の加入状況

- ・加入世帯数が100世帯以下の小規模な町内会が全体の27% (N=1,281) を占めている。町内会への加入率を高める上では集合住宅への加入の働きかけが重要な要素であることがうかがえた。

町内会の規模



##### ●組織運営上の課題

- ・役員の高齢化や担い手不足に悩む町内会が多い。(単位・連合共通)。
- ・小規模な町内会では行事の参加者の少なさ、住民の入れ替わりの多い地域では新旧住民の交流が課題とされる傾向にある。

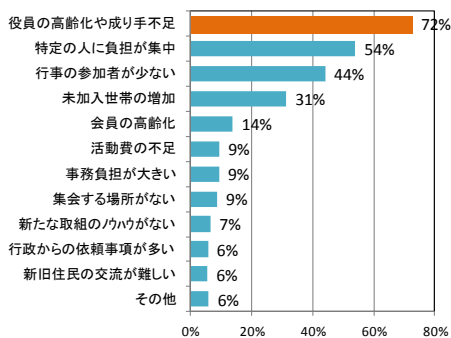
##### ●町内会で実施されている活動

- ・積極的な町内会の活動は地域の住み良さに貢献していることが明らかになった。
- ・活動の担い手不足が地域の活動に影響を与えている様子が見られた。

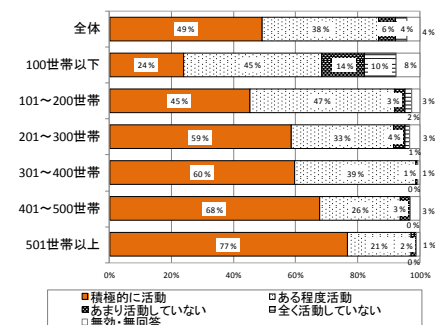
##### ●町内会の活動拠点

- ・約半数の町内会が、自前の集会所を所有又は賃貸している。集会所を所有または賃貸している町内会の方が、所有していない町内会よりも活動を活発に行っている傾向が見られた。

組織運営上の課題(単位町内会)



規模×町内会活動の活発さ



#### (2) 単位町内会長等ヒアリング調査

##### ●町内会の活動状況の特徴

- ・町内会が地域活動に取り組むにあたっては、専門部会をつくるなど、組織的な動きを取る町内会と、会長や役員個人の努力に支えられている町内会がある。個人の努力に支えられている町内会は会長交代後の体制に不安を覚えるところもある。

##### ●町内会による課題への対応

- ・多様な主体と連携することで、活動の幅を広げている例が見られた。
- ・外部との連携に積極的な町内会は、ボランティア団体や学生と連携することで若い人材を確保したり、消防や大学と連携することで専門的人材や資機材を活用している例も見られた。

##### ●町内会の合併事例

- ・町内会同士の連携や合併がうまくいくためには、町内会組織以外にも、日常的な関係づくりの重要性が明らかになった。町内会の役員同士が日頃から意思疎通できる関係を構築している町内会同士では、合併協議が進みやすい。
- ・町内会の合併にあたっては、お互いが連携等の必要性を感じ、双方に分かりやすいメリットがあることも、重要な要素となる。

### (3) 市民意識調査

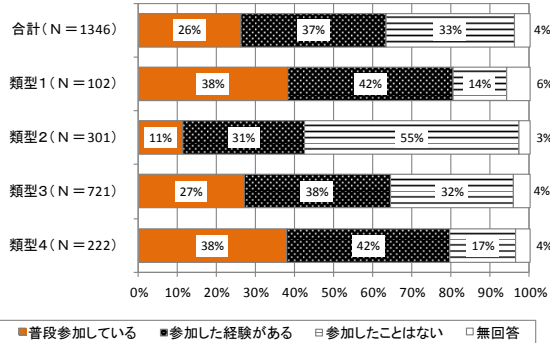
#### ●町内会活動への参加状況について

- ・住民の居住年数の長い地域や戸建住宅主体の地域では活動への参加や参加経験が多い一方、集合住宅主体の地域では参加したことがない住民が多い傾向がみられた。

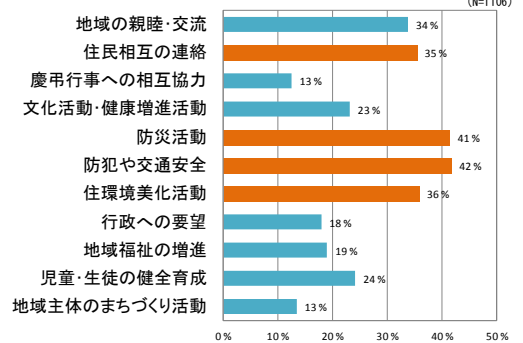
#### ●町内会との関わりについて

- ・今後町内会に力を入れて欲しい活動は防犯、交通安全、防災、住環境美化などであり、地域を住みよくすることについての町内会に対する期待は大きい。
- ・住民の居住年数が長い地域や戸建住宅主体の地域で、特に町内会に対する期待は大きい。

地域類型×活動への参加状況



町内会に力を入れてほしい活動



### (4) 解散・合併地域元役員ヒアリング

- ・世帯規模が小さく、高齢化の進んだ町内会では、活動が次第に維持できなくなる例がある。
- ・町内会の解散による地域活動の停止により、住民が知り合う機会が失われることもある。

## 4. 現状分析からの課題、地域のニーズ

#### 地域類型別に見た町内会の分析

##### ●住民の居住年数が長い地域(類型1)、戸建住宅中心の地域(類型4)

- ・会員の高齢化が進んでいる傾向がある。
- ・中山間地域を中心に、加入世帯の減少が課題になっている地域もある。

##### ●集合住宅中心の地域(類型2)

- ・住民が地域活動に強い関心を示さず、町内会活動が低調な傾向にある。
- ・集合住宅の住民でも、子育て世帯等は、子供会や学校を通じて住民同士または地域団体と関わる機会が一定確保できるが、地域との交流がない世帯も多い。
- ・活動の担い手が現役世代中心になることが多く、平日の日中を中心に地域活動に取り組むことが困難な状況が多いと考えられる。

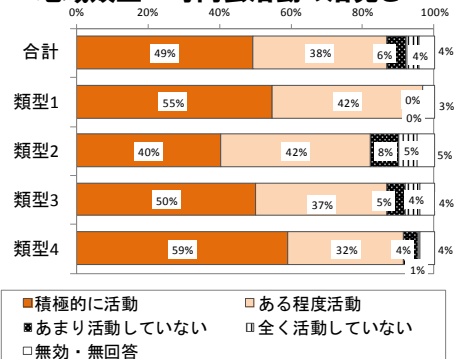
##### ●戸建住宅・集合住宅が混在している地域(類型3)

- ・町内会特徴は、類型2と類型4の特徴を併せ持つ傾向がみられる。
- ・マンションが加入する町内会も、活動の担い手は戸建住宅の居住者に依存することが多い。

##### ●小規模な町内会

- ・居住形態や住民の居住年数に関わらず、活動の担い手不足等を理由に町内会活動を積極的に行うことが難しい傾向がみられる。
- ・担い手や活動資金の不足だけでなく、実施する活動のマンネリ化の傾向もみられる。

地域類型×町内会活動の活発さ



## 5. 今後の支援の方向性

### (1) 地域内の人材の発掘、担い手の確保

- ①担い手の育成・定着等に関するモデル事業の実施
- ②市民センター等によるコーディネーター、ボランティア等の人材育成の充実
- ③市連合町内会長会、マンション管理組合連合会等と連携した加入促進の取り組みの充実
- ④町内会活動や組織運営の工夫・アイデアなどをまとめた事例集の作成
- ⑤地区集会所建設等補助・借り上げ補助のあり方の検討
- ⑥地域活動の拠点としての市有施設の有効活用の検討 など

### (2) 地域の社会資源との連携促進

- ①地域主体の活動を進めるための体制づくりに向けたモデル事業の実施
- ②多様な主体との連携を進めるためのモデル事業の実施
- ③顔の見える関係づくりに向けた話し合いの場の設定・コーディネイトの支援
- ④学校・PTAとの連携強化
- ⑤企業や大学等の地域貢献活動を促進する環境の整備
- ⑥コミュニティビジネス、ソーシャルビジネス等導入促進
- ⑦町内会との連携を希望する団体等の情報提供
- ⑧町内会活動や組織運営の工夫・アイデアなどをまとめた事例集の作成 など

### (3) 近隣町内会等との協力体制の強化

- ①町内会の連携強化等を促進するための相談支援機能の充実
- ②連携強化や合併等の取り組みなどをまとめた事例集の作成
- ③顔の見える関係づくりに向けた話し合いの場の設定の支援 など

### (4) 町内会空白・解散地域の住民への支援

- ①町内会活動立ち上げ等に対する支援の充実
- ②顔の見える関係づくりに向けた話し合いの場の設定の支援
- ③市連合町内会長会、マンション管理組合連合会等と連携した加入促進の取り組みの充実 など

